



# 図書館だより 5月号

徳島北高等学校図書委員会

読書の日・前期読書会

6月21日(月)

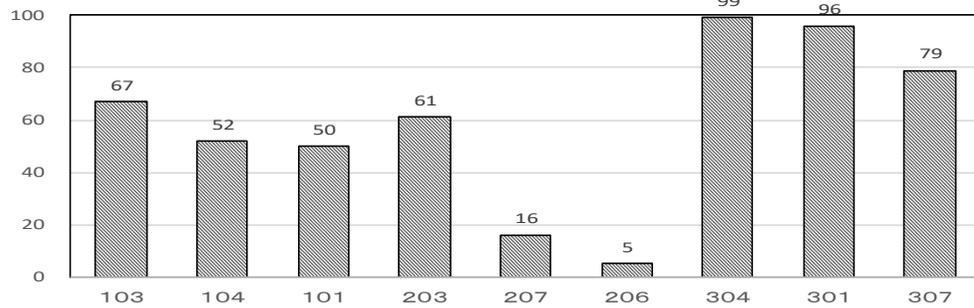
みなさん、月に何冊ほど本を読破していますか。

最新の調査では、本を読む時間よりもスマホやパソコンで動画を見ることやゲームをする時間の方が上回り、月に1冊も読破していない人が増えているそうです。

液晶画面から出るブルーライトは、知らないうちに視力の低下を引き起こしています。「勉強終わりの休憩にスマホ…」ではなく、本を読むのはいかがでしょうか。

北高図書委員会の5月の月間目標は『読書活動の推進』です。北高図書館では、話題の新刊本が続々と所蔵されています。未所蔵の本で読みたいと思う本がある場合、リクエストも可能です。また、図書館は朝9時～夕方17時まで開館しています。本を読む以外にも、自習スペースがあるため自習をすることも可能です。2,3年生はもちろん、1年生も遠慮せずに利用してくださいね。また図書館について分からないことがあれば、迷わず司書の先生に聞いてみてください。図書館利用のマナーを守り、みなさんにとって、心の憩いの場となるような図書館を目指しましょう。

学年別クラス別貸出冊数BEST3(4月)



## 【メッセージ】

1年生のみなさん、4月の図書館オリエンテーションでの本校の図書館との出会いはどうでしたか。これからの3年間の高校生活で、さまざまな本や新聞記事との出会いをするため、積極的に図書館を活用してください。

3年生のみなさん、楽しくクラス読書会はできましたか。自習する場所として図書館を利用する人もこれからは増えていくと思います。その時には、意識して自分の進路に役立つような本や、読んでおくべき本・雑誌等を探し借りることも忘れないでください。

これからも、みなさん一人ひとりの読書の大切さへの気づきの高まりをとおして、学校の図書館から借りる本も増えていくことを期待しています。

## 図書委員のおすすめ本(みなさんも読んでみてください。)

『犬がいた季節』 伊吹有喜 著 双葉社

104HR図書委員

本屋大賞ノミネート作品(2021年)

ある日、高校に迷いこんだ子犬、コーシロー。校長先生の許可により、学校で暮らすことになった。

高校生。それは人生の中のかげがえのない青春の1ページである。しかし、楽しいことばかりではない。将来の進路に向けて自分と闘う時期でもある。そんな高校生たちの日々の葛藤を、コーシローは12年間もの間、見つめてきた。生徒と学校生活を送ってゆくなかで、その瞳に映ったものとは。昭和から平成、そして令和へ。いつの時代も変わらぬ青春のきらめきや切なさを描いた、著者最高傑作!すべての人に送りたい。感動青春小説です。ぜひ一度、読んでみてください。

『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』 青柳碧人 著 双葉社

104HR図書委員

僕がおすすめる本は『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』という本です。この本は、赤ずきんが旅をしている最中に様々な童話の中で事件に巻き込まれ、その事件を解決していくという内容になっています。ミステリーが好きな人はもちろん、実際にある「シンデレラ」などの童話を違う目線から見られるので、多くの楽しみがある作品です。最後には赤ずきんの本当の旅の目的も明かされるので、興味のある人はぜひ読んでみてください。

『少女』 湊かなえ 著 早川書房

103HR図書委員

この本は、ある女子高生たちの過去についての話です。どんどん話の中心人物が入れ替わるので、さまざまな人の視点で物語を楽しむことができます。ページが279ページと多いので、特に本を読むことが得意な人におすすめです。

今後の予定

5/24(月)~5/27(木)

蔵書点検のために閉館します

6/21(月)放課後1時間程度

前期読書会

……詳しい案内は後日掲示するポスターで。  
誰でも参加できます。

